

ものがたりから世界の熱狂をつくる
パルコ×講談社 共同プロジェクト「渋谷スペイン坂編集室」始動
マンガ雑誌・展覧会・商品・映像を共同開発

パルコと 講談社で

渋谷スペイン坂
編集室

PARCO



KODANSHA



株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区、以下「パルコ」）と株式会社講談社（本社：東京都文京区、以下「講談社」）は、ものがたりを起点に新たな体験価値を創出する**共同プロジェクト「渋谷スペイン坂編集室」を始動します。**

パルコは、ファッション、アート、演劇、音楽、映画などを通じて、都市に文化との出会いを生み出し、リアルな場における体験価値を編集してきました。講談社は、文芸、学術、マンガ、雑誌をはじめとする多様な出版活動を通じて、時代を象徴する数々のものがたりを世の中に届けてきました。

本プロジェクトは、**講談社が培ってきた編集力、作家との関係性、出版・流通の知見と、パルコが持つ都市・店舗におけるイベント、展覧会、商品の企画・開発力を掛け合わせ、ものがたりを「読む」だけで終わらせず、「見に行く」「参加する」「手に取る」「熱を持つ」という体験へと広げていく取り組みです。**

作品そのものを生み出すだけでなく、人の心に届いたひとつの種火が世界を熱狂させていくまでの過程を設計し、継続的にIPを創出・育成していきます。

なお、パルコと講談社は、**2019年の渋谷PARCO建て替えプロジェクトにおける「AKIRA ART WALL」や、「攻殻機動隊」の原作者・士郎正宗氏の展覧会企画などを通じて協業を重ねてきました。**今回の取り組みは、両社の協業関係をさらに発展させ、新たな文化創出の基盤をつくり出すものです。

■共同プロジェクト

第一弾の取り組みとして、マンガ雑誌を刊行し、作家にフォーカスをあてた展覧会を実施します。また、新しく世界をつくるものがたり（マンガ）の持ち込み企画を8月上旬渋谷PARCOにおいて開催いたします。加えて、商品開発、映像開発など、多面的な展開を進めていきます。* 詳細は近日発表

プロジェクトロゴ

渋谷スペイン坂
編集室

2社ロゴ

PARCO



KODANSHA

■プロジェクトSNS

X : @spainzakastudio

IG : @shibuya_spainzaka_studio

■ティザーサイトURL : https://parco.jp/shibuya_spainzaka_studio

<本リリースに関するお問い合わせ先>

・株式会社パルコ 出版事業開発部：新垣（ara-yoshi@parco.jp）、柏木（kashi-ryo@parco.jp）

共同プロジェクトの具体的な事業概要

【1】新マンガ雑誌創刊

街から立ちのぼる「ものがたり」の面白みを伝えていく

共同プロジェクトの第一弾として、パルコと講談社は新たなマンガ雑誌を創刊します。本誌は、作家が挑戦できる環境をつくり、その表現を手触りのある「紙」というメディアで読者に届けるための新しい編集の場です。講談社が培ってきた編集力、作家との関係性、出版・流通の知見と、パルコが持つ都市・店舗における企画・開発力を掛け合わせ、世代を超えた才能が継続的に育つ基盤をつくっていきます。

【2】展覧会・イベント開発

作品世界を、リアルな体験へと広げる

新雑誌から生まれる作品や、両社で注目している作家の表現を、展覧会やイベントとして展開していきます。作品世界、作家の思想、制作のプロセス、時代性を、空間の中で感じられる体験として構成します。マンガ作品の読者に加え、アート、ファッション、音楽、映画など幅広いカルチャー層にも届く企画を開発し、作品との新しい出会いを生み出していきます。

【3】マーチャндаイジング開発

作品の世界観を、手に取れるかたちへ広げる

マーチャндаイジング、すなわち作品世界を手に取れるかたちにする商品開発にも取り組みます。単にキャラクターやビジュアルを商品化するのではなく、作品の思想や空気感、読後に残る余韻まで大切にしながら、日常の中で楽しめるプロダクトを企画していきます。ファッション、雑貨、コラボレーション商品など、パルコのリテール企画力と講談社のコンテンツ編集力を掛け合わせ、作品の楽しみ方を多面的に広げていきます。

【4】メディアミックス展開

スタジオやメディアとの連携も視野に、映像化・ゲーム化等メディアミックス可能なIPとして育成していきます。

2 社事業責任者コメント

株式会社パルコ

執行役員 コンテンツ事業開発部、出版事業開発部、ゲーム事業開発部担当

小林 大介

講談社様とパルコが協働し、街から立ちのぼる「ものがたり」をマンガ雑誌という魅力的なメディアを通じて世界へ発信してまいります。

この取り組みを共に進められることを心からよろこび、深く感謝いたします。

私たちは「ものがたり／マンガ」の伝え方や広げ方についても共に考え、実践していきます。

地図には描けない、心に残る価値を創出する——ここから一大プロジェクトが始まります。

株式会社講談社

第四事業本部 本部長

穴倉 立哉

Inspire Impossible Storiesは私たち講談社が2022年から掲げるグローバルパーパスです。

日本語訳をすると「ありえない物語で刺激する」。

数多くのありえない「ものがたり」を生み出してきた私たちが、PARCOさんと新しい編集室を共に運営していくことで、これまでのマンガ文脈だけでは想像できなかった「ものがたり／マンガ」の伝え方や広げ方を生み出せる可能性に静かに熱く興奮しています。

< 本リリースに関するお問い合わせ先 >

・株式会社パルコ 出版事業開発部：新垣 (ara-yoshi@parco.jp)、柏木 (kashi-ryo@parco.jp)